



平成 28 年 5 月 26 日

各 位

株 式 会 社 U B I C  
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏  
東 京 都 港 区 港 南 2 - 1 2 - 2 3  
(コード番号：2158 東証マザーズ)  
(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)  
問 合 せ 先： 執 行 役 員 管 理 本 部 長  
谷 口 正 巳  
T E L 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

### 定款の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 6 月 29 日開催予定の当社第 13 期定時株主総会に、下記のとおり、定款の一部変更について付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 変更の理由

当社は創業 13 年目となる平成 28 年 3 月期に 3 つの大きな変革を達成しました。

- ① 人工知能技術を活用した今後の成長領域（ヘルスケア、マーケティング、ビジネス・インテリジェンス）における取り組みが開発・検証の段階から事業化、収益化のフェーズに移行。
- ② 技術の中核となる人工知能エンジン「KIBIT（キビット）」が関連技術である Landscaping とともに「少量のデータでも人間の機微（暗黙知や感覚、判断）を正しく理解し、欲しい情報をいち早く見つけ出す」技術として確立し、特に成長領域における各種製品に実装・実用化。
- ③ 当社の現在の主力事業である e ディスカバリ事業の主力市場であるアメリカにおいて、2 社目の買収を行い、強固な営業基盤を確立。

当社では、変革をさらに推し進め、創業より掲げる「人と社会の未来」を創造する価値をもった企業としての意思を明確に指し示すため、進取の精神とともに技術の進歩性や先端性等の意味を込めて、新社名を **FRONTEO**（フロンテオ）としました。**FRONTEO** は英語の **FRONT**（最先端）とラテン語の **EO**（前へ進む）から成り立っており、また、**Frontier Technology Organizations** の略語で「進歩的かつ先端的な価値創造集団」を意味しています。

平成 15 年の U B I C 設立以来、e ディスカバリ・リーガル事業の中で育ててきた人工知能

「KIBIT」は、今、FRONTEO という新たな名の下で、事業の枠組みや垣根を越えて、実力とその

可能性を大きく広げようとしています。新たに制定した企業ロゴとともに、「人と社会に大きな輝きをもたらす」企業として、新たなステージを切り拓いていきます。

## 2. 変更の内容

現行定款	変更案
<p>第1条（商号） 当社は、株式会社 UBIC と称し、英文では、UBIC, Inc.と表示する。 （附則） <u>（新設）</u></p>	<p>第1条（商号） 当社は、株式会社 <u>FRONTEO</u> と称し、英文では、<u>FRONTEO, Inc.</u>と表示する。 （附則） <u>第1条</u> <u>第1条の規定の変更は、平成28年7月1日に効力を発生し、その効力発生日をもって本附則は削除する。</u></p>

以上